

同ハ時一ト先ヅ本邦ニ引揚ガリ

三、二十八日會見ノ内容

交渉、主トシテ應援者原虎一、高森忠利、近藤
武男等ニシテ、美曰ニ引續キ、後聊向題ニ就キ接續
シタルモ工場側ハ絶対ニ之ニ應ヤルハ為メ聊工側
ハ非常ニ遺憾シテ、其ハ權利ヲ以テ自由行動ヲ採ルカラ
承認シロト怒聲シ續去セリ
右及申一週一報候也

月島町民清君に先ん

親愛なる月島町民清君に、貴君の宗情を許し、其公に
在り批判を乞ふものやある、私共は三村工場に働いて僅かの報
酬を得て細く暮らして居る労働者でありませう、私共は工
場に勤めて居る始末を生活して居るものやあり
一月二十三日早朝出勤しますと、内服が麻を閉めて工場を拒
むのでありませう、清君何と云ふ重罪なことでありませう、工
場には二十三日夜半紙一本を焚いて私共を獄首して居た
のでありませう

清君、私共は工場に就職する所、在当の手続を経て居る
ものであつて決して手紙一本で就職しなすにはありませう
是れの中には震災被害の場か金焼した為僅か五円の存当にて